

VI 学校質問紙調査結果から見えてくる 成果と課題

1 学校質問紙調査について

全国学力・学習状況調査では、質問紙調査項目を下記Ⅱ～Ⅳの領域に分けています。
また、これらの領域番号ごとに京都府（京都市を除く）の結果チャートを示しています。
各学校の結果にも学校ごとの結果チャートが掲載されているので、学校の現状が分かります。

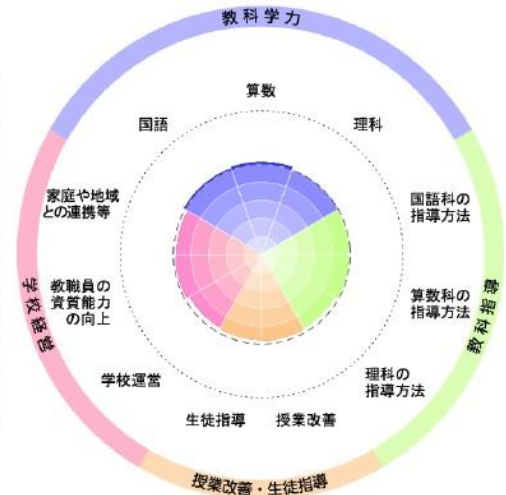
【小学校】

結果チャート（内側の線が全国平均）

＜令和4年度調査の領域名と学校質問紙の質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名		小学校学校質問紙 対応領域・項目番号
Ⅰ	1	教科学力	国語
	2		算数
	3		理科
Ⅱ	4	教科指導	国語科の指導方法 (39)～(42)
	5		算数科の指導方法 (46)～(48)
	6		理科の指導方法 (50)～(54)
Ⅲ	7	授業改善・ 生徒指導	授業改善 (23)(26)(28)(30)(31)
	8		生徒指導 (7)～(10)
Ⅳ	9	学校経営	学校運営 (16)～(18)(81)
	10		教職員の資質能力の向上 (19)～(21)
	11		家庭や地域との連携等 (72)～(76)

※領域番号1～3については、各教科の全国平均正答率を基準として比較したものである。
※領域番号4～11については、「小学校学校質問紙対応領域・項目番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。



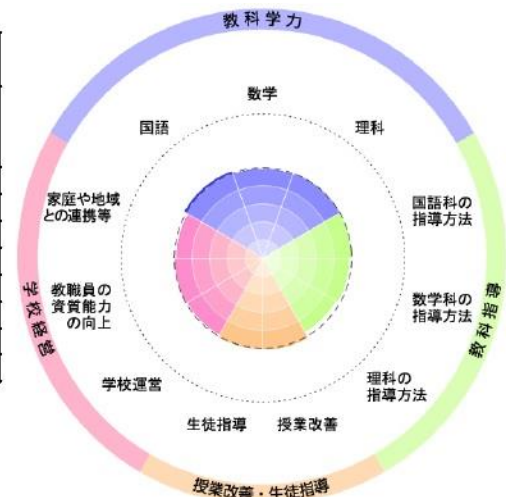
【中学校】

結果チャート（内側の線が全国平均）

＜令和4年度調査の領域名と学校質問紙の質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名		中学校学校質問紙 対応領域・項目番号
Ⅰ	1	教科学力	国語
	2		数学
	3		理科
Ⅱ	4	教科指導	国語科の指導方法 (39)～(42)
	5		数学科の指導方法 (46)～(48)
	6		理科の指導方法 (49)～(53)
Ⅲ	7	授業改善・ 生徒指導	授業改善 (23)(26)(28)(30)(31)
	8		生徒指導 (7)～(10)
Ⅳ	9	学校経営	学校運営 (16)～(18)(79)
	10		教職員の資質能力の向上 (19)～(21)
	11		家庭や地域との連携等 (70)～(74)

※領域番号1～3については、各教科の全国平均正答率を基準として比較したものである。
※領域番号4～11については、「中学校学校質問紙対応領域・項目番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。



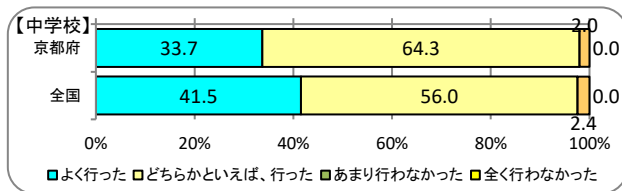
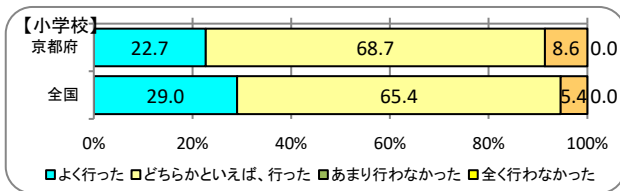
結果チャートに示された京都府（京都市を除く）の傾向を、領域ごとに次のページから見ていきます。

2 学校質問紙の調査結果について

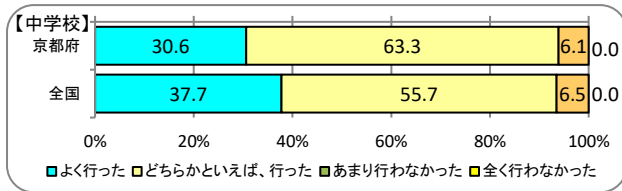
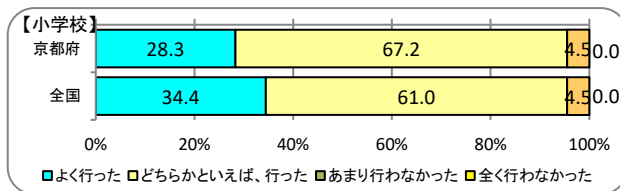
(1) 国語科の指導方法

京都府のデータは京都市を除いています

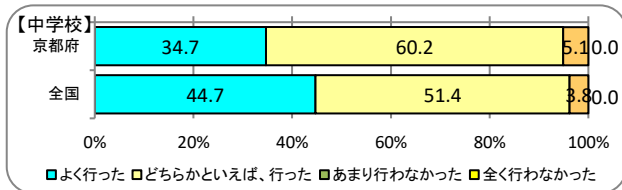
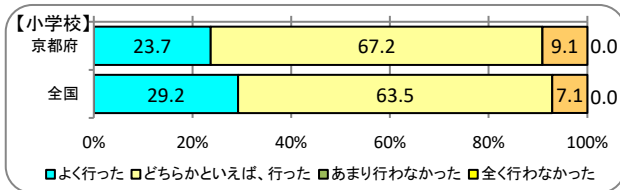
Q39：調査対象学年の児童【生徒】に対する国語の指導として、前年度までに、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行いましたか



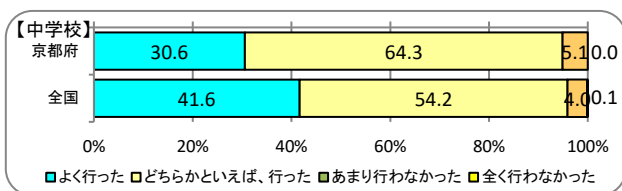
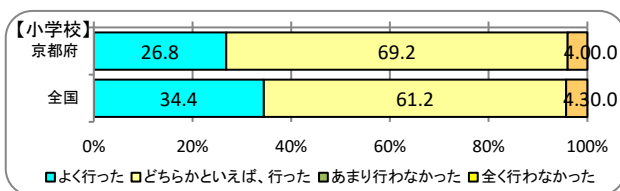
Q40：調査対象学年の児童【生徒】に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか



Q41：調査対象学年の児童【生徒】に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係【根拠】を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したり【表現を工夫して書いたり】する授業を行いましたか



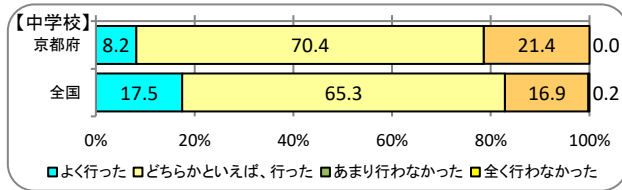
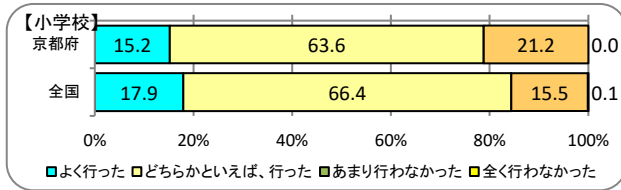
Q42：調査対象学年の児童【生徒】に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり【内容を解釈して】自分の考えを広げたりする授業を行いましたか



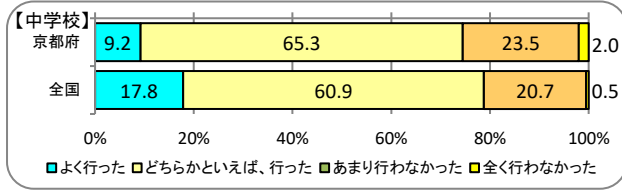
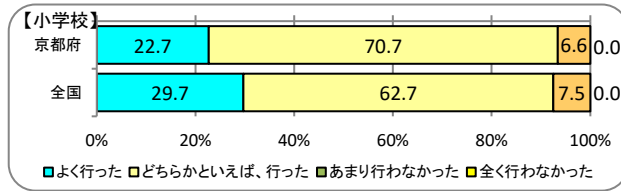
(2) 算数【数学】科の指導方法

京都府のデータは京都市を除いています

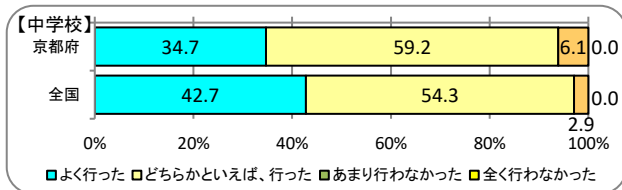
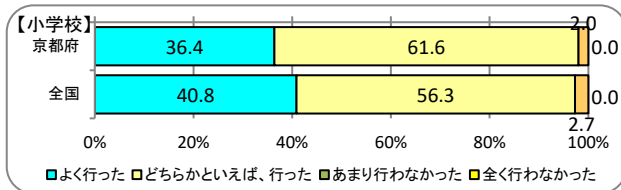
Q46：調査対象学年の児童【生徒】に対する算数【数学】の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



Q47：調査対象学年の児童【生徒】に対する算数【数学】の指導として、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習【観察や操作、実験等】を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする【数量や図形等の性質を見いだす】活動を行いましたか



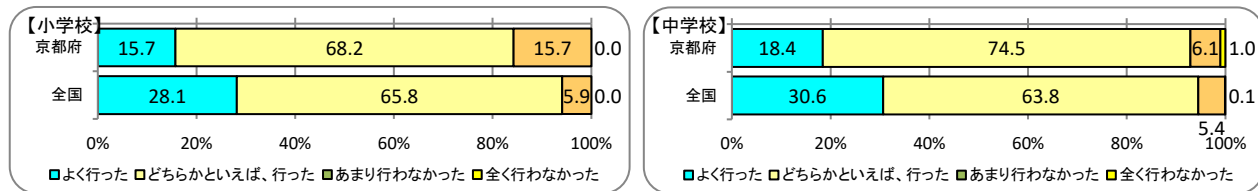
Q48：調査対象学年の児童【生徒】に対する算数【数学】の指導として、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方等【公式やきまりなど】を指導するとき、児童【生徒】がそのわけ【根拠】を理解できるように工夫していましたか



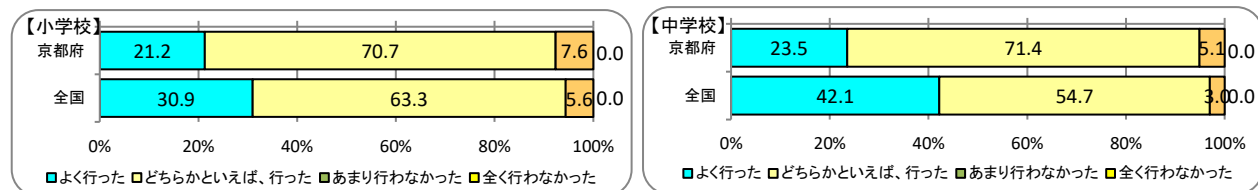
(3) 理科の指導方法

京都府のデータは京都市を除いています

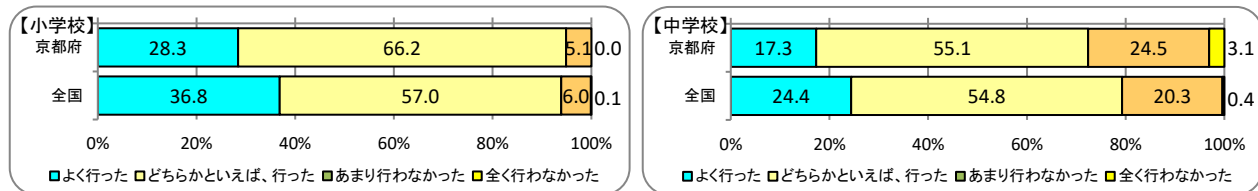
(小)Q50(中)Q49：調査対象学年の児童【生徒】に対する理科の指導として、前年度までに、自然の事物・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか



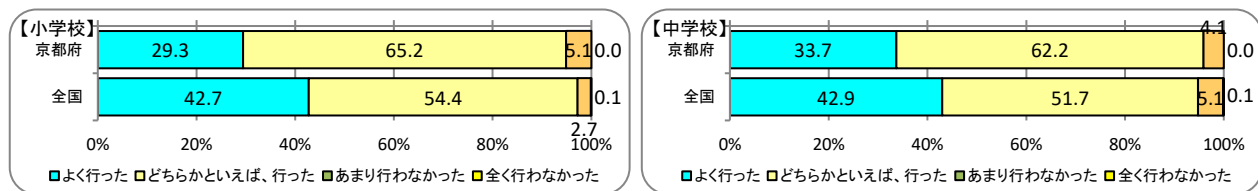
(小)Q51(中)Q50：調査対象学年の児童【生徒】に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



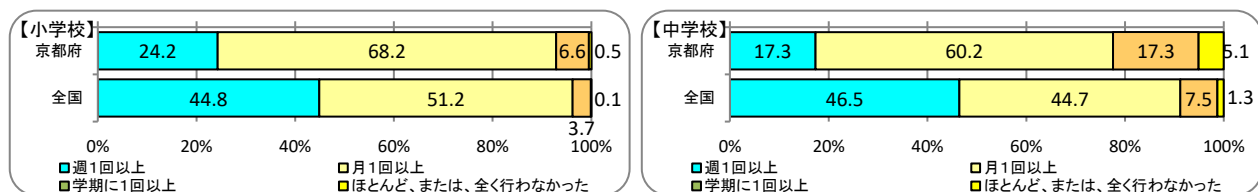
(小)Q52(中)Q51：調査対象学年の児童【生徒】に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた予想や仮説【仮説】をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか



(小)Q53(中)Q52：調査対象学年の児童【生徒】に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する【分析し解釈する】指導を行いましたか



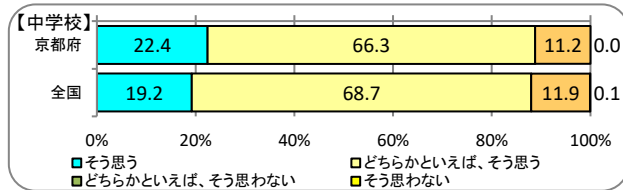
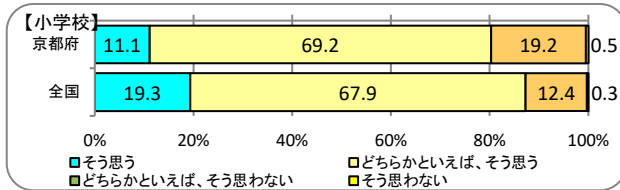
(小)Q54(中)Q53：調査対象学年の児童【生徒】に対する理科の指導として、前年度に、児童【生徒】が観察や実験をする授業を1クラスあたりどの程度行いましたか



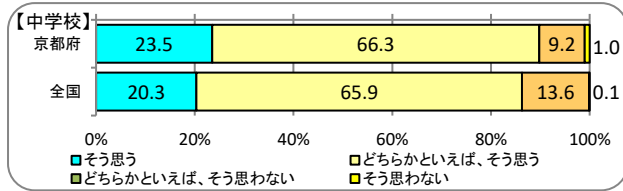
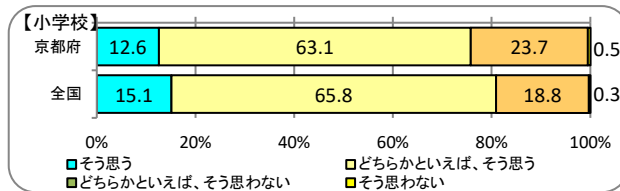
(4) 授業改善

京都府のデータは京都市を除いています

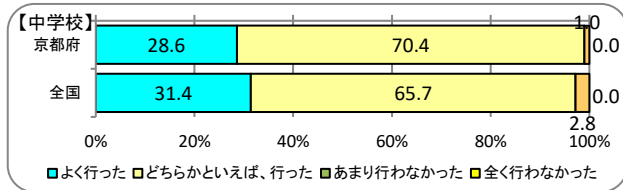
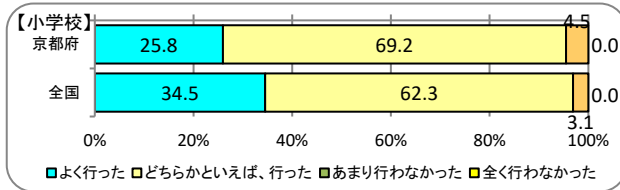
Q23：調査対象学年の児童【生徒】は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか



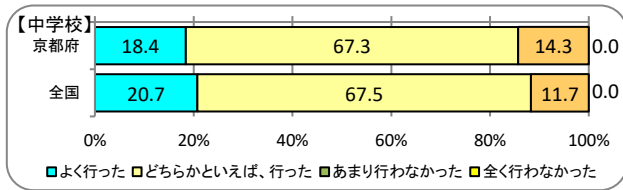
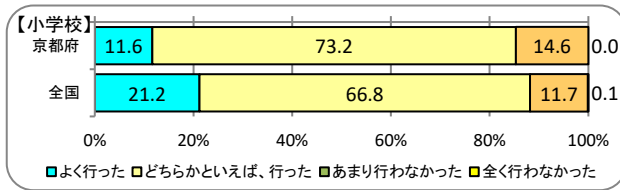
Q26：調査対象学年の児童【生徒】は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思いますか



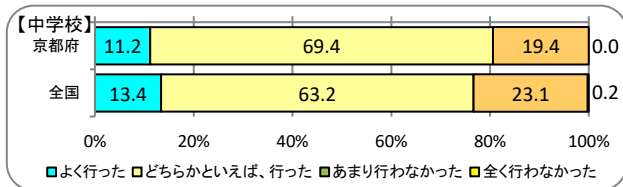
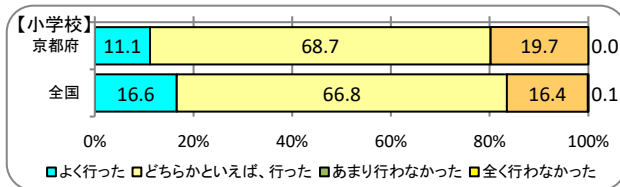
Q28：調査対象学年の児童【生徒】に対して、前年度までに、授業において、児童【生徒】の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



Q30：調査対象学年の児童【生徒】に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



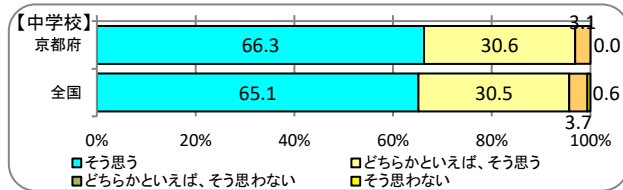
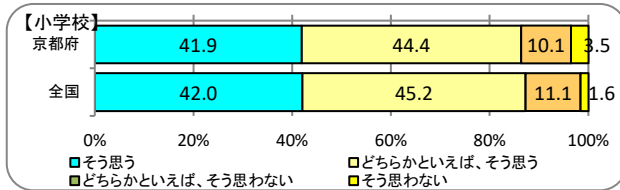
Q31：調査対象学年の児童【生徒】に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか



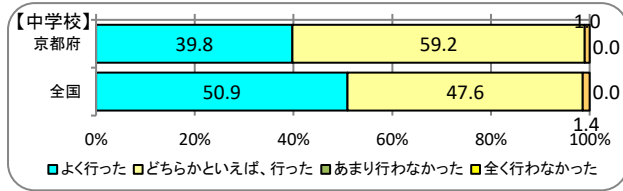
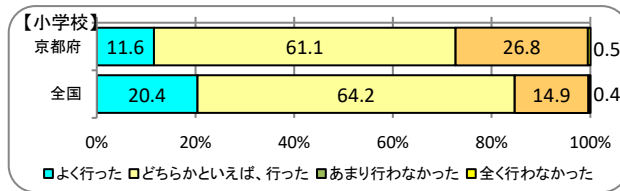
(5) 生徒指導

京都府のデータは京都市を除いています

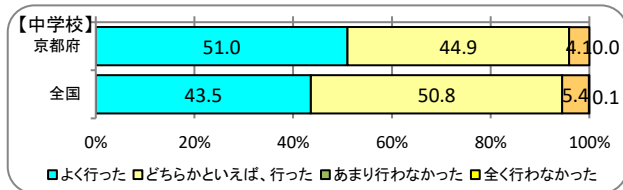
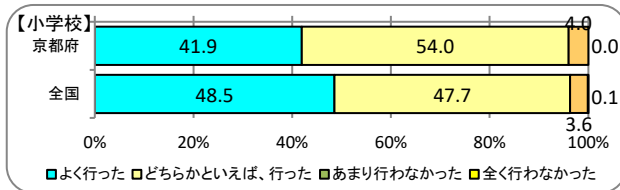
Q7：調査対象学年の児童【生徒】は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



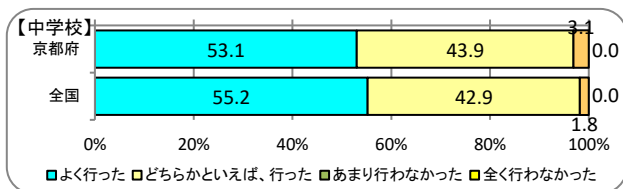
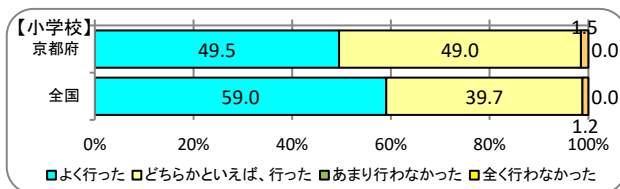
Q8：調査対象学年の児童【生徒】に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか



Q9：調査対象学年の児童【生徒】に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか



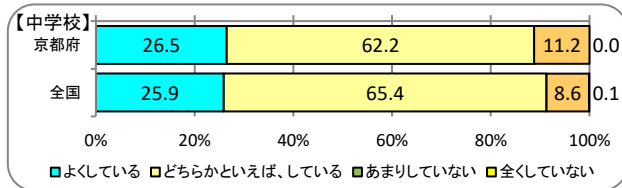
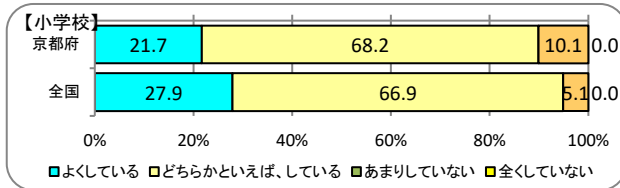
Q10：調査対象学年の児童【生徒】に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童【生徒】一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか



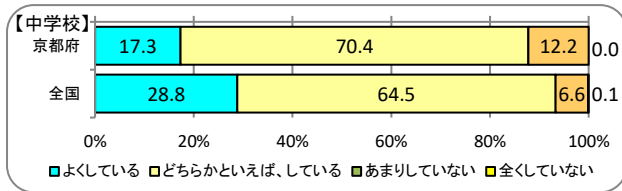
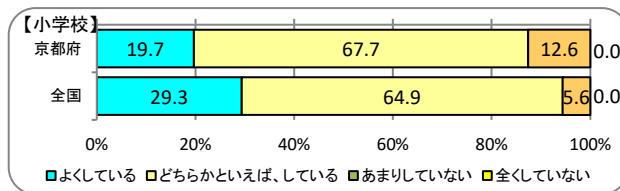
(6) 学校運営

京都府のデータは京都市を除いています

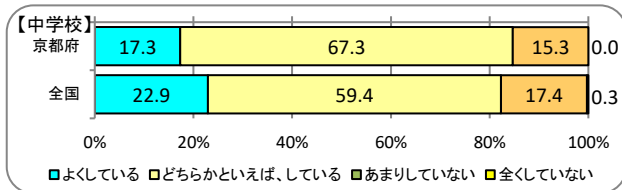
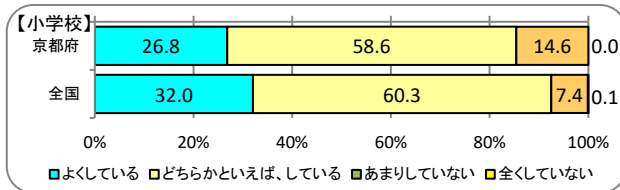
Q16：指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか



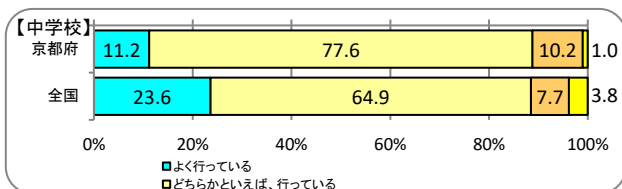
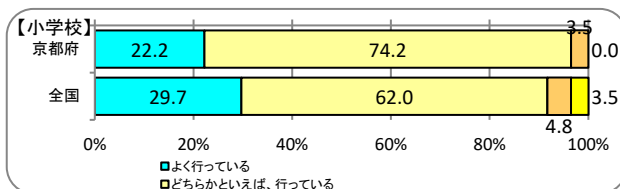
Q17：児童【生徒】の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか



Q18：指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか



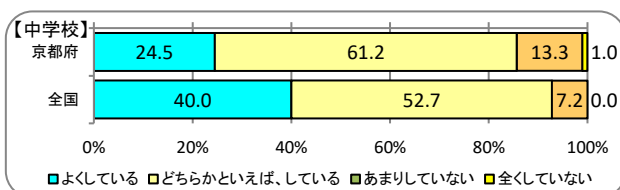
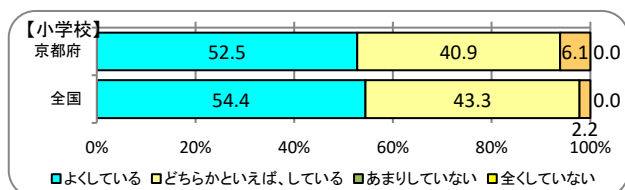
(小)Q81(中)Q79：全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか



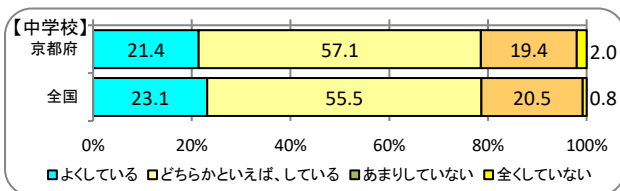
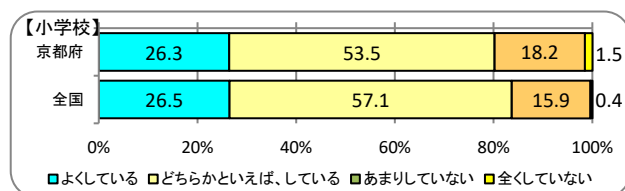
(7) 教職員の資質能力の向上

京都府のデータは京都市を除いています

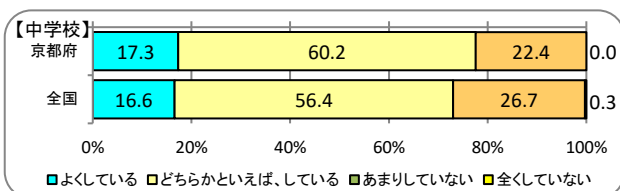
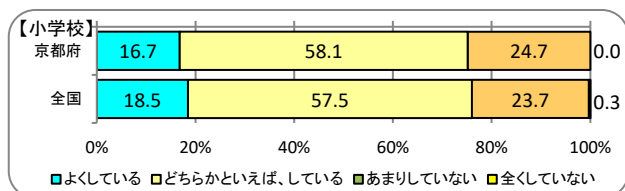
Q19：授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか



Q20：児童【生徒】自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか



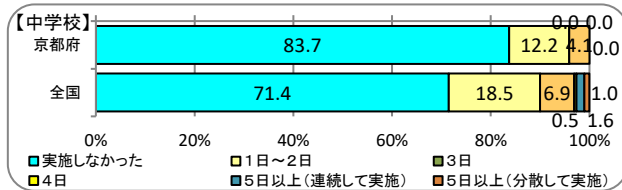
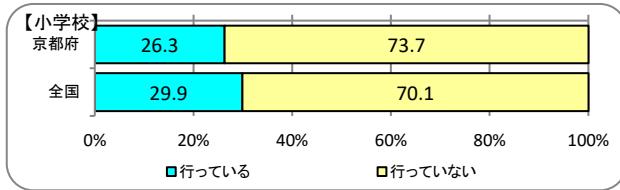
Q21：個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか（オンラインでの参加を含む）



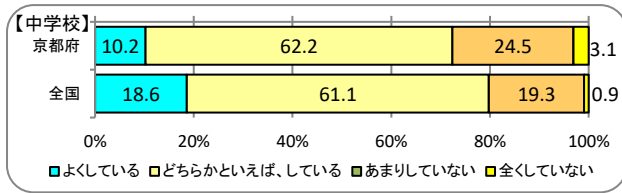
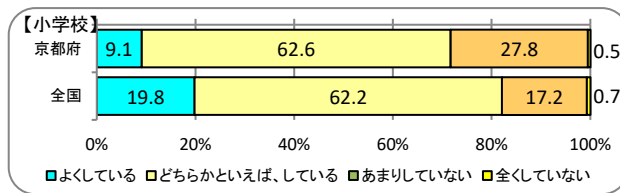
(8) 家庭や地域との連携等

京都府のデータは京都市を除いています

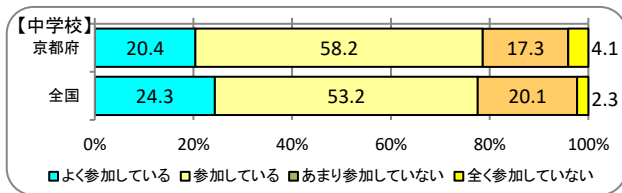
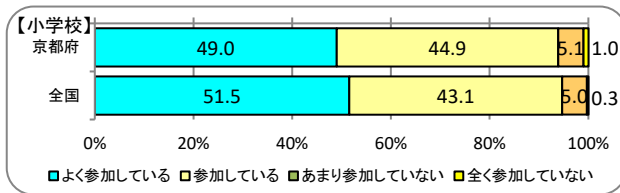
(小)Q72(中)Q70：(小) 職場見学を行っていますか (中) 調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか



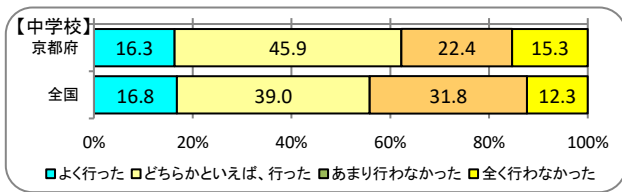
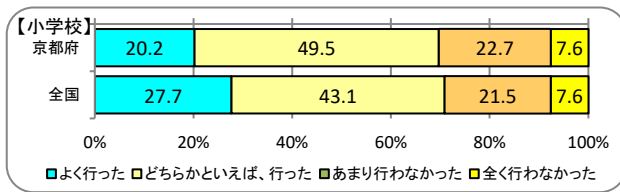
(小)Q73(中)Q71：教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか



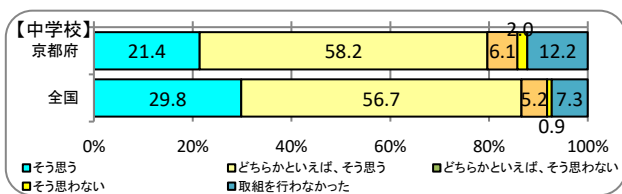
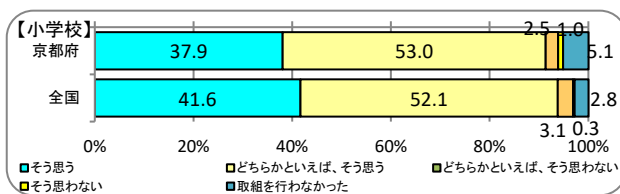
(小)Q74(中)Q72：保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか



(小)Q75(中)Q73：地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(小74)(中72)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか



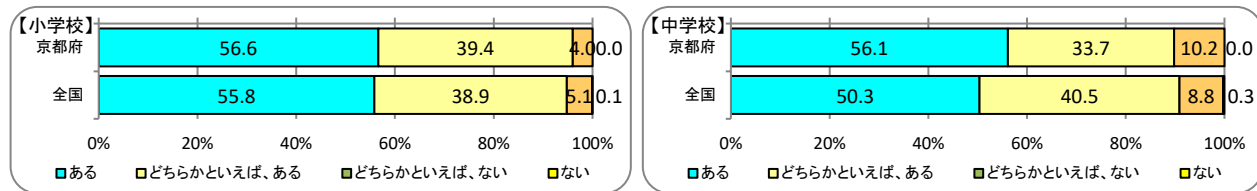
(小)Q76(中)Q74：(小74)(中72)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか



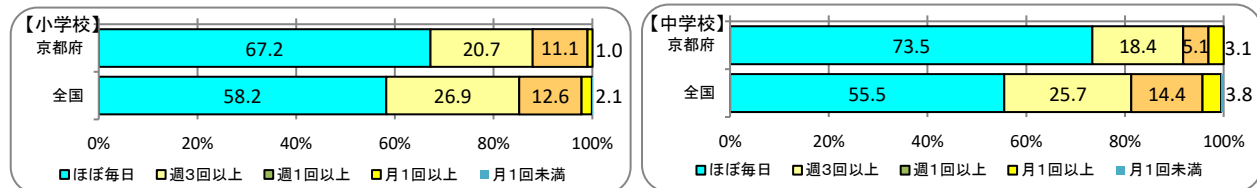
(9) その他

京都府のデータは京都市を除いています

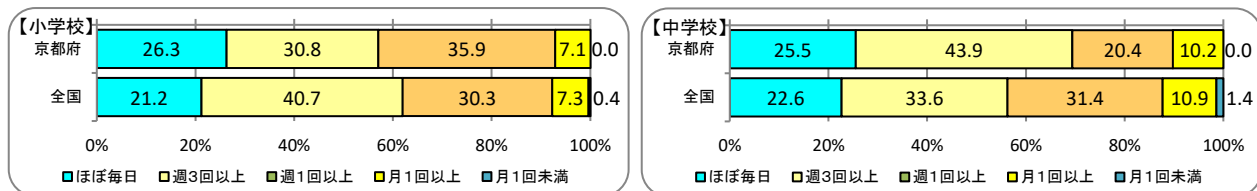
(小)Q57(中)Q55：教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか



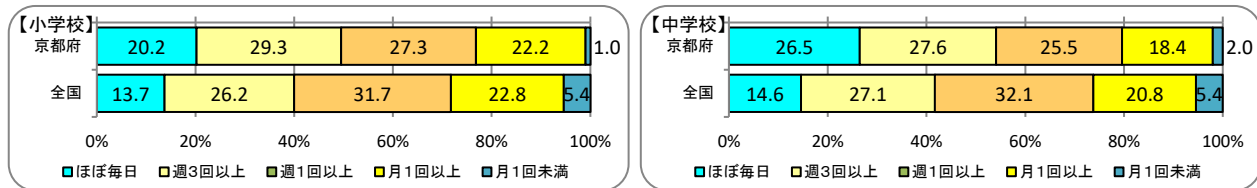
(小)Q59(中)Q57：調査対象学年の児童【生徒】に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



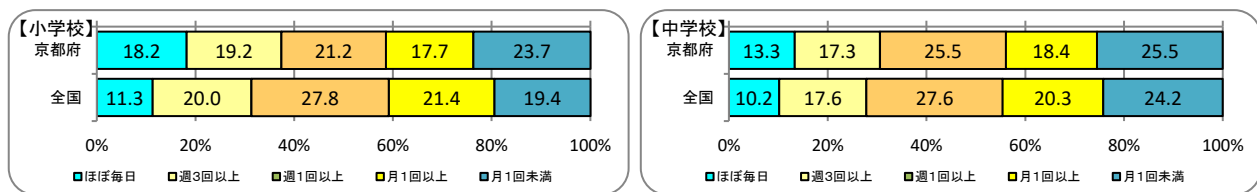
(小)Q60(中)Q58：調査対象学年の児童【生徒】が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童【生徒】一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



(小)Q61(中)Q59：調査対象学年の児童【生徒】が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童【生徒】一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



(小)Q63(中)Q61：調査対象学年の児童【生徒】同士がやりとりする場面では、児童【生徒】一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



(小)Q64(中)Q62：前年度に、児童【生徒】一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童【生徒】が学校外の施設（他の学校や社会教育施設、民間企業等）にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか

